

第2回亙理町立中学校再編準備委員会会議録

令和6年8月30日（金）午後7時00分

午後8時17分

- 事務局 午後7時00分開会を宣した。
- 第1回亙理町立中学校再編準備委員会会議録の議事録について委員各位へ承認の可否を諮ることを委員長へ依頼。
- 委員長 各委員に承認の可否について諮り、承認された。
- 事務局 週明けに第1回亙理町立中学校再編準備委員会会議録及び会議資料を亙理町ホームページへ掲載することを説明。
- 委員長 議事（1）新中学校の名称、校歌、校章の決定方法について、事務局へ説明を行うよう告げた。
- 事務局 （1）新中学校の名称、校歌、校章の決定方法について説明。
- 本日使用する資料は、新中学校名を決定した他自治体の事例を、平成22年度文部科学省委託事業で作成された「小・中学校の設置運営に関する事例研究～公立小・中学校統合事例集～」より抜粋し掲載したものとなっている。
- 資料3ページから5ページに基づき、公募による学校名の決定事例、地域間の理解促進による校名等の決定促進の事例、地域住民・保護者等の意見を反映させた統合新設校への取組事例について説明。
- 続けて、資料6ページから10ページに基づき、名称、教育目標、教育課程、校歌、校章の検討事例について説明。
- 委員長 各委員へ再度資料を読む時間を3分間設け、その後委員1人ひとりへ意見を確認したい旨告げた。
- 3分経過後、各委員へ意見を求めた。
- 委員 地域へ広く開かれるべきと考え、公募をするのが良いと思う。1点疑問があり、集まった意見から最終的に校名を決めるのはこの委員会なのか、教育委員会なのか質問したい。
- 委員長 事務局へ説明を行うよう告げた。
- 事務局 委員会で決まったものを教育委員会へ報告いただくが、教育委員会で決定するわけではなく、亙理町総合教育会議の場が最終決定機関となる。この委員会は方針を調整していただく機関となる。
- 委員長 次の委員へ意見を求めた。
- 委員 周囲にも相談したが、校名は後からでも良いという話をされ、安全面の確保が不安だということを第1に言われた。スクールバス等のことだと思う。学校名を決めるにしても細かいところを決めていかないといけないと思う。

- 委員長
委員 次の委員へ意見を求めた。
亙理という名称は残した方が良いと思う。個人的には亙理の学校だと分かる校名が良いと思うが、公募をして絞っていく形が良いと思う。校歌と校章については、公募で、専門家や子ども達の意見の良いところ取りで組み合わせる方が良いと思う。
- 委員長
委員 次の委員へ意見を求めた。
公募で決めるのが良いと思う。特に地域の方や卒業生や保護者も積極的に関わりながら考えることで、新しい学校に向けてみんなで参加しているという参画意識も芽生えると思う。校歌や校章については、思いやフレーズがキーワードになると思うが、後はプロにお任せすると良いと思う。
- 委員長
委員 次の委員へ意見を求めた。
2校の名称を同時に公募すると統一性があると思う。校歌、校章に関しては、プロというイメージもあるが、子ども達も良い発想がたくさんある。一概にプロに頼むのではなく、公募して子ども達の思いを取り入れる形もあるのではないかと思う。ただし、校歌の作曲については素人ではできないので、プロの方にお任せすることが必要になると思う。
- 委員長
委員 次の委員へ意見を求めた。
広く公募するのが良いと思う。コンセプトがすごく大事で、そこを察しながら選べると思う。校歌の歌詞については、子ども達に考えてもらうのもあるし、もし可能であれば、今の中学校の校歌の歌詞の一部をうまく繋げながら、この部分は自分の学校だと思えるような部分を残しながら作詞ができると思うのかなという考えもある。
- 委員 基本的に公募で、あとは皆さんがおっしゃったように、コンセプト、ふるさとを愛するようなものが良いと思う。以前学校統合について見聞きしたことがある。校名はもう決まっていたが、校歌は生徒からこれは残したい、これは入れて欲しいというフレーズを集めて、その後地域に詳しい方をお願いして作詞していただいていた。あとは地域のことをよく知っている、関わってくれている作曲家をお願いしたというのがあった。それが良いかどうかかわからないが、一つの例としてお伝えしたい。基本的に住民も生徒も何か変わったという形があると良いと考える。
- 委員 基本的に公募が良いと思う。大事なコンセプトを最初に決めて公募すると良い。名称を先に決めないと進んでいけないと思う。校章と校歌については、それほど慌てなくても良いと考えている。学校ができてから校歌ができたこともあるようだ。各学校で生活する子どもたちの色々な意見アイデアがそこに入ってくるのが、一番早く親しまれる校歌になるのではないかと考えている。
- 委員長 他に発言がないか各委員へ諮ったところ、特になく（1）新中学校の名称、校歌、校章の決定方法については、①基本的に公募を行うこと、②校名を来年の3月までに決定し、その後、校歌校章と動いていくこと、③決定の過程を明らかにしていくこと、④プロの力を借りることもあるかもしれないが、公募を基本とすること、を確認した。

- 事務局へ他に確認すべきことがあるか確認した。
- 事務局 コンセプトを委員会で決めるのか、公募と際に名称とそのコンセプトを書いていたかどうか等、今日の段階で決めていただけると前へ進める。広く意見を求めるためには、校名と一緒にコンセプトも書いて出していただき、その学校に対する思い、コンセプトをその理由として書いていただくと開かれた公募になるのではないかと思う。
- 委員長 各委員へコンセプトの決め方について、校名と一緒に出していただく方法で良いか諮ったところ、異議ないものと認められた。
- 委員 公募の際に案を例示するのか？
- 事務局 例示するのは難しいと思う。皆さんの意見をうかがっていると、コンセプトとして、亘理の地にある学校とわかるということがあると感じた。そこは一つの大きなコンセプトになるかと思うので、こういったコンセプトでという程度であれば言えると思う。
- 委員長 例示はせず、①亘理の地にある学校とわかる、②亘理の地域への思い、愛着が感じられるといった内容で考えてもらい、そこに思いを書いくださいという形で公募するということが良いか各委員へ諮ったところ、異議ないものと認められた。
- 事務局 公募の対象について、全国とするのか亘理町内とするのか、亘理町出身者も含めるのか等決めていただきたい。
- 委員長 各委員へ意見がないか諮った。
- 委員 公募の方法について、システムはあるのか？
- 事務局 紙ベースでの投票もあるし、LINEを使った公募という形もとれるかと思う。デジタル的な部分とあと紙ベースの部分でということまでできるかと思う。
- 委員 地域住民かどうか、由来があるかどうかを識別する方法はあるのか？ホームページや広報、各学校、PTA への案内でアナログもデジタルも含めて広く公募することに加えて、誰がどうということを制限できないことを考えると、発表するところを限定して、入ってくるものは任せる方法しかないという気はする。逆に沖縄に住んでいる方が応募した内容が委員にすぐささるのであれば、コンセプトも聞くということなので、逆に言えば採用せざるを得ないと思うし、集まってきた中で亘理町の中学生が出してきたとわかるのであればそれも評価基準になるのかなという気もする。なので、公募する方法は町民に広く伝わる方法にして、集まってくるものに関しては集まってからというのが良いのではないかと聞いていて思った。
- 委員長 事務局へ意見を求めた。
- 事務局 先ほど言われたとおり、沖縄の方が亘理町出身だったとしても調べる手立てはないので、今言われたように広く公募してそのコンセプト、校名で選んでいただくと良いのではないかと思う。
- 委員 校名は公募が良いが、校歌はどうするのか。
- 委員長 3月になったところで校歌、校章と進んでいくので、校歌、校章については皆さんに考えていただく時間は十分あると思う。本日は校名ということで、次回その名称決定の

具体的方法の検討となっていく。

範囲について、紙ベースとデジタルで集める形で問題ないか各委員へ諮ったところ、疑義なく異議ないものを認め（１）新中学校の名称、校歌、校章の決定方法についての議事は修了した。

事務局

事務局へ（２）その他について説明するよう告げた。

（２）その他について説明。

次回委員会の議事内容については、新中学校の名称決定、こちらに係る具体的方法を検討していただくといった内容となっている。

委員

次回会議の時には、事務局からこのようなフォーマットで募集をかけるという資料が出てくると考えておいて良いか？

事務局

そうなる。公募をかける時期など大まかなタイムスケジュールも出すようになるかと思う。

続けて、次回開催日の日程について示すとともに、欠席の場合は事前に連絡をいただくよう依頼した。

日時：令和6年9月27日（金）午後7時から

会場：亘理町役場大会議室

引き続き、事務局から「亘理町立中学校再編準備委員会だより」の作成について説明を行った。

目的：亘理町立中学校再編準備委員会の活動内容や進捗状況を保護者や地域住民に伝えるとともに、児童生徒自身に中学校再編に関する情報を提供し、理解と関心を高めること。

内容：2回分ごとの再編準備委員会で話し合った内容をまとめて1つ作成する。

配布方法：亘理町ホームページの掲載、学校経由で児童生徒への配布

以上の内容について、委員から承諾をいただきたい。

委員長

「亘理町立中学校再編準備委員会だより」の作成と配布方法について各委員へ諮ったところ、疑義なく異議ないものを認め承諾された。

その他本日の会議内容について意見がないか各委員に諮ったところ、意見はなく議事の終了を告げた。